


事後評価書

要因 事業	事業概要	事業による環境の変化	事業を巡る社会情勢等の変化	維持管理の状況																								
農業 農村 整備 事業	<p>地区名 <small>こうがしらかみ</small> 幸頭上地区（武雄市山内町）</p> <p><ため池諸元> （提高：7.8m、堤長L=32m、貯水量 2.3千m³ 斜樋 250mm、底樋 600mm、洪水吐、放水路）</p> <p>工期 平成12年度～平成14年度</p> <p>総事業費 63,000千円</p> <p>事業内容 ため池堤体補強 L=32m 取水施設工 1箇所 洪水吐工 1箇所</p> <p>受益面積 A=5.0ha</p> <p>事業の目的 本事業は、堤体の補強等を行うことにより、農地・農業用施設をはじめ、人家や公共施設等の被災を未然に防止し、併せて農業生産の維持や農業経営の安定を図ることを目的としている。</p> <p><事業前の状況> 堤体：浸食等による堤体の変形 各所から多量の漏水、余裕高不足 取水施設：斜樋、底樋の老朽化 洪水吐：土水路かつ必要断面不足</p>	<p>ため池整備に伴う環境の変化</p> <p><生活環境> ・ため池の下流には7戸の人家があり、事業実施により、安全性が高まった。</p> <p><自然環境> ・ため池の機能の回復工事であり、自然環境に大きな変化をもたらす工事となっていない。 （改修前）</p>  <p>（改修後）</p> 	<p>受益面積、農業者数の変化 幸頭上地区の農家数は、事業着手時と変化はみられないが、高齢化が進んでいる。 中山間地域に位置しているが、受益地の減少もなく耕作放棄も発生していない。 （H20年現在：60歳以上の農家の割合 64%）</p> <table border="1" data-bbox="1516 554 2172 680"> <thead> <tr> <th></th> <th>農家数</th> <th>受益面積</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成12年</td> <td>25名</td> <td>5ha</td> <td>武雄市資料</td> </tr> <tr> <td>平成20年</td> <td>25名</td> <td>5ha</td> <td>武雄市資料</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考> 山内町の農地面積、総農家数の変化 農地面積、総農家数ともに減少しており、戸当たり農地面積は微増となっている。</p> <table border="1" data-bbox="1516 877 2172 993"> <thead> <tr> <th></th> <th>農家数</th> <th>受益面積</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成12年</td> <td>702名</td> <td>455ha</td> <td>2000センサス</td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td>629名</td> <td>423ha</td> <td>2005センサス</td> </tr> </tbody> </table>		農家数	受益面積	備考	平成12年	25名	5ha	武雄市資料	平成20年	25名	5ha	武雄市資料		農家数	受益面積	備考	平成12年	702名	455ha	2000センサス	平成17年	629名	423ha	2005センサス	<p>維持管理体制 ・武雄市山内町三間坂区では、農地・水・環境保全向上対策に取り組んでおり、三間坂区資源保全隊（農家をはじめ、一般住民が加わり、約130名で構成している。）を結成し、日常からため池や農業用排水路、農道等の維持・管理を行っている。</p> <p>ため池の管理 ・維持管理は、主に堤体の草刈りを定期的（年2回）行っている。 また、地域の代表者で見回りを行うなど、ため池点検も実施されている。</p> <p>その他の管理 区内の農業用施設において、草刈りや水路の泥上げを年3回実施するほか、用水路や農道の補修等を行っている。 また、景観形成として遊休農地に菜の花やそばの花を植えるなど、様々な活動を行っている。</p>
		農家数	受益面積	備考																								
	平成12年	25名	5ha	武雄市資料																								
	平成20年	25名	5ha	武雄市資料																								
	農家数	受益面積	備考																									
平成12年	702名	455ha	2000センサス																									
平成17年	629名	423ha	2005センサス																									
<p>県民の意見</p>			<p>事業の効果</p>	<p>今後の課題等</p>																								
<p>地区の区長及び土地改良区副理事長への聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤体の補強や洪水吐の設置がされたことで、豪雨時も安心していられるようになった ・仮設道路を管理道路として残してもらっており、以前は山道を徒歩で登っていたが、軽トラックで堤体まで行けるようになり安全で、維持管理が容易になった。 ・堤体表の浸食箇所には張ブロックを施工したことにより、草刈り等の維持管理作業が容易になった。 			<p>ため池の整備による効果 <防災効果> ・事業を実施したことにより、ため池下流域の決壊による被害（農地の流失、作物被害・農業用施設の破損、家屋の浸水、道路等の公共施設の破損）の未然防止が図られる。 被害想定額は、下記のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1549 1451 1961 1730"> <thead> <tr> <th>予想被害額</th> <th>（百万円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農作物</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>農地</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>農業用施設</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>住宅・公共施設</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（事業計画書）</p> <p><その他の効果> ・住民への2次的効果として、被災が想定される区域に住む人々やため池管理者はもとより地域住民の不安が解消された。</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">被害の未然防止が図られている。</p>	予想被害額	（百万円）	農作物	12	農地	21	農業用施設	43	住宅・公共施設	19	合計	95	<p>維持管理に関する課題 ・ため池の堤頂部にイノシシをはじめとする小動物が掘った孔が数箇所確認されている。 現在の孔の位置は、満水面より上の所であるため、安全性に支障は無いが、管理の頻度を多くし、大きな孔は早期に補修を行う事が重要である。 また、場合によっては、鳥獣よけの防護柵等の設置等を検討することも必要と思われる。</p> <p>共通課題 ・ため池の貯水は、地域の農業用水のみならず、防火用水など雑用水として利用されている。 現在、関係農家数は減少していないが、将来的に農家数の減少や高齢化が進行すると考えられるため、現在の地域ぐるみの維持管理を継続していく必要がある。</p>												
予想被害額	（百万円）																											
農作物	12																											
農地	21																											
農業用施設	43																											
住宅・公共施設	19																											
合計	95																											